

CONSERVATION  
INTERNATIONAL



2015年3月4日

京都府知事 山田啓二 殿  
亀岡市長 栗山正隆 殿  
京都府公共事業評価に係る第三者委員会 委員長 小林潔司 殿  
京都府公共事業評価に係る第三者委員会 委員各位

コンサベーション・インターナショナル バイス・プレジデント  
兼 一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパン  
代表理事 日比保史



国際的な生物多様重要地域に係る「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）」の整備について

私共、コンサベーション・インターナショナル（本部アメリカ・バージニア州アーリントン／会長ゲイリー・エドソン）は、科学的知見に基づき持続可能な社会作りに取り組む国際 NGO です。国内では、一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパンとして、「自然を守ることは、人間を守ること」をスローガンに活動しています。

さて、標題の件については、事業対象地がアユモドキ（学名 *Leptobotia curta*）の残された最後の生息地のひとつであるのをご承知の通りです。アユモドキは、国の天然記念物、種の保存法における国内希少野生動物種、そして環境省レッドリストの絶滅危惧 IA 類に指定されている保全上重要な絶滅危惧種です。さらに、日本以外には生息しない日本の固有種であるため、亀岡市に残された生息地を保全することは、地球の生物多様性の保全に直結します。

また、当該地域は、日本政府も加盟する国際自然保護連合（IUCN）等が設定する、「国際的に生物多様性保全の鍵となる地域（Key Biodiversity Area : KBA）」の要件を満たしています。KBA は、生物多様性条約においても、重要地域と位置づけられており、国際的に保全が求められている生態系です。KBA の保全を進めることは、2010年に名古屋で開催された生物多様性条約締約国会議（COP10）で世界各国が合意した愛知目標のひとつである「2020年までに既知の種の絶滅をなくす」ことにも大きく貢献します。そして、同地が長年の住民の方々の自然と共存する努力が生み出した、文化的にも価値の高い景観の中にあることは、わが国の生物多様性国家戦略で掲げる自然と共生する社会の模範と言えます。

京都スタジアム（仮称）建設に関しては、京都府及び亀岡市が共同で設置した「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）に係る環境保全専門家会議」の検討や専門家の報告から、アユモドキ等への影響を最小化し、生息地の保全を確実なものとするために必要なデータや対策の方法論について未だ解明、検討されるべき課題が残されている状況と理解しています。当該地域の世界的な重要性に鑑み、十分な科学的情報を収集し、自然下で生息する絶滅危惧種の個体群の存続が確保されることを期待します。

以上、ご高配のほど、よろしくお願いたします。

コンサベーション・インターナショナル(CI)は、科学的知見とパートナーシップ、現場での実践を通して、持続可能な社会の実現を目指す地球環境 NGO です。生物多様性ホットスポットを中心に、世界 30 カ国以上で約 900 名のスタッフが、1,000 以上のパートナーと協働しています。理事に、俳優ハリソン・フォード、IUCN 前副会長ラッセル・ミッターマイヤー、キリバス共和国大統領アノテトン、『銃・病原菌・鉄』の著者・地理学者ジャレド・ダイヤモンド他。

日本国内では、生物多様性の保全や気候変動対策について、科学的知見に基づいた政策提言、ODA における政府や国際機関との連携、企業の環境経営支援などに取り組んでいます。

自然を守ることは、人間を守ること